

日本語を母語としない子どもたちとともに JSL 日本語指導教育研究会通信

JSL (=Japanese as a second language)

令和2年10月第2号

発行者 会長 熊本 修治

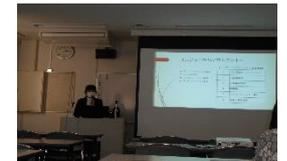
日本語指導教育研究会 事務局

第2回研修会 福岡市教育センター

全体研修1 個人研修について

・筑紫丘小学校 原田 徳子先生 博多中学校 横山 小織先生

今年度各々で取り組む個人研修についての方法を示していただきました。動画を効果的につかって、文型を学ばせる日本語初期指導と指導案を提案していただきました。また、中学校でのパワーポイントをつかってのプレゼンテーションの授業を紹介いただきました。どちらも児童生徒の力を引き出す工夫がされていて、参考になりました。これから、サバイバル日本語、日本語基礎指、教科との統合指導、技能別日本語の中から自分が取り組みたいものに取り組みます。



○具体的な実践や指導案の提案をしていただいて、今後の展望が持てました。

○中学校の日本語指導の工夫について横山先生の指導力や生徒の力を見取り、伸ばす計画の立て方などとても勉強になりました。

全体研修2 日本語初期指導（中学校）について

・博多中学校 萬石 ゆかり先生

博多中学校で実施されている日本語初期指導についてお話していただきました。日本語の学習以外の生活面や生徒指導面でのきめ細やかなサポートがされていました。博多中学校では、外国人生徒が転入してきた際に、学校生活の紹介動画を見せて、見通しを持たせています。学習力につなげる目標設定をさせてあったり、ストレスケアを十分にされていて、生徒たちが前向きに学校生活に取り組んでいる様子が想像できました。



○学校生活の紹介動画、学校で使いそうな翻訳シートは小学校でも使えそうです。ワールドルーム新聞はとも参考になりました。教科連絡シールを連絡帳に貼るなど、細かい指導をされていると思いました。

○非漢字圏の漢字の学習を参考にさせていただきたいです。

全体研修3 小中部会 受け入れ時の適応支援について（小） 進路について（中）

・城浜小学校 早田浩二先生 下條道子先生
・城香中学校 日高美和先生 春吉中学校 薄里美先生

小学校部会では、外国人児童を受け入れる際に行っている実践や工夫について発表しました。児童に対する支援、保護者に対する支援、在籍学級の担任の先生に対するフォロー、学校全体で各学校で行っていることを紹介し合いました。児童には、言葉の支援だけでなく、学校生活を送る上での細やかな支援や、友人と良好な関係を築くための支援など、各学校で個に応じた細やかな支援が紹介されました。



また、中学部の発表では、進路保障について特別措置の最新情報を共有しました。

○各校のいろいろな取り組みが聞けて、参考になりました。

○児童・保護者への支援だけでなく、学校全体の受け入れ態勢の準備の大切さを改めて感じました。